

かわむら **こども** クリニックNEWS

Volume 23 No 2

259号

平成27年 2月 7日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

お世話になりました

道端 千尋

この度、結婚を機に県外へ行く事になり退社する事となりました。10年お世話になった思い出を振り返ってみたいと思います。

まず、最初の面接は、とても緊張して挑みました。そんな中、受け答えに戸惑ってしまった時、先生は笑顔で接してくれました。それまで受けてきた他の面接は、終始、厳しい顔をした先生と緊張したまま終わるのが普通でしたが、この時は、『焦らなくていいからな』とか、リラックスできるような雰囲気を作ってくれて、色々な面を見てくれてたのかなと思いました。そして、少し緊張が解けた状態で面接を終えたのを覚えています。

そして、採用の電話を頂き、晴れて、かわむらこどもクリニックのスタッフの一員となりました。実は、そのすぐ30分後くらいに、しばらく前に受けた他の病院からの採用の電話がきました。電話の順番が違ったら、かわむらこどもクリニックのスタッフにはなれなかったのかと思うと、運命が決まっていたのかなと改めて感じました。

クリニックで働き始めて、一番驚いた事は先生、スタッフのみんなが、患者さんととても楽しく接してた事でした。仲良くてすごい☆と本当に思っていました。顔を見ただけで、〇〇ちゃん、名前が出てくる事が驚きでした。でも、私も働いていくうちに、患者さんと何気ない事を話したり、笑ったり。気付いたら、名前も覚えて、電話を受ける時には、声の感じで、患者さんが分かったり、そんなやりとりが楽しかったです。勤めて間もない頃は、今よりも仕事を覚える事が精一杯で、うまく対応できていなかったり、ご迷惑をかけていたと思います。でも皆さんは、いつも優しく接してくれて、本当に成長させていただきました。

それと、先生とスタッフとの連携も、すごいなあ



と改めて思います。みんなが一生懸命に診療に向かうのは、やっぱり、先生の背中を見ているからだと思います。先生は、常に様々な仕事をこなしています。会議や学会も増え、全国を飛び回っているの、休む時間よりも、仕事をしている時間の方が多いと思います。本当に頭が下がります。

私達スタッフも、学会に参加する事もあり、東北の他には、横浜、大阪、京都など観光も兼ねて行かせていただきました。もちろん、学会では、講演や研究の発表など貴重な勉強の場になります。そして、もう一つの楽しみは、みんなとの観光です。先生がご飯の美味しいお店へ連れて行ってくれたり、写真もたくさん撮ったり、いつも満喫していました。

特に、開院20周年記念で、私達をセブ島へ連れて行ってくれた事、まさかの海外で、ビックリしました！先生は、セブに詳しいので心強かったですし、長い旅行も家族のように過ごす事ができて、とても楽しかったです。

思い出がたくさんありすぎて、書ききれないのですが、私は、やっぱり、かわむらこどもクリニックのスタッフで幸せでした。悩んでいる時は、自分の娘のように思い親身になってくれて、特に、大地震の時は、みんなで支え合い診察を早く始めようという思いで結束していました。仕事は真面目に真剣に、でも笑い合い笑顔でいれる、この職場でしか経験出来ない事がたくさんあったと思います。

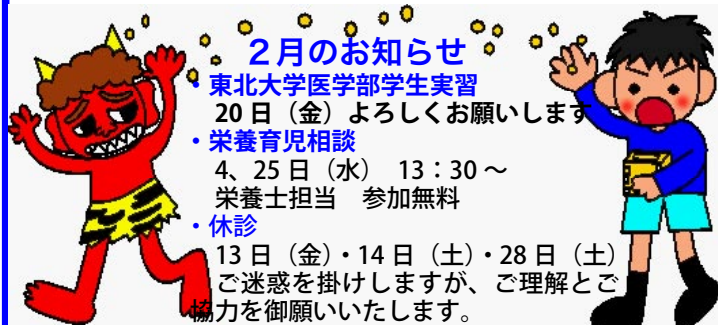
お仕事が最後の日、先生の前で、『辞めたくない〜』と泣いてしまいました。本当に10年があったという間でした。クリニックを離れる事を考えると寂しいので、最後まで今まで通り働こうと思い、患者さんの皆さんには、なかなか言えませんでした。でも、先月号の新聞を見た方からは、温かい言葉をいただき、その度に嬉しくて感動していました。

かわむらこどもクリニックに勤めて、そして皆さんと出会えた事、本当に感謝しています。ありがとうございました♪



2月のお知らせ

- 東北大学医学部学生実習
20日(金) よろしくお祈りします
- 栄養育児相談
4、25日(水) 13:30~
栄養士担当 参加無料
- 休診
13日(金)・14日(土)・28日(土)
ご迷惑を掛けますが、ご理解とご協力を御願いたします。



『がんばろう！宮城 がんばろう！日本』
“みんなでやれば、大きな力に”

ちひろちゃん 結婚おめでとう！！

10年間の長い間お疲れさま！縁とは不思議なもので、ちょっとしたタイミングで人生が変わってしまうもの。クリニックと同じで、この縁も大切に下さい。幸せに手に入れることが、皆への恩返しだからね。お幸せに！！院長

結婚おめでとうございます！普通の仕事仲間というよりも長く親しい時間を過ごしてきたな～というんなことを思い出しています。新しい環境で慣れない事もあるだろうけど頑張ってくださいね！！事務 福地 あさか

結婚おめでとうございます♪明るく、楽しい笑顔あふれる家庭をつくって下さい！ 看護師長 中米由美子

千尋ちゃん 結婚おめでとう これから楽しい生活がスタートしますね もしも、ちょっとつまずきそうになった時には、今までお会いしたお母さんの話、笑顔や涙を思い出してみてくださいね～！ 看護師 佐藤 陽子

読者の広場

先月は10通のメールを頂きました。今月号は道端君の結婚お祝い特集号ですから、皆さんから頂いたメールのお祝いの部分を紹介いたします。まずは須賀川から通ってくる樽川さんから。“こんばんは。先日は、ありがとうございました。受付の道端さん、今日までだったんですか？勝手に3月までだと思って、お祝いも、お礼もなにもしずに病院を出てしまっ、新聞を後から見て、後悔したところでした。で、今日いっぱいかと思ってメッセージカードを書こうかと優と言ってたところでした。病院に送れば、渡して頂けますか？”。地元で解決できない悩みがあり車で2時間近く掛けて通ってきます。当院への想いは人一倍強いのかも知れません。メールの通りカードもちゃんと送られてきました。次は青葉区の千葉さん。“道端さん、今日で最後のお仕事でしょうか。まずはご結婚おめでとうございます。いつも穏やかに迎えていただいた道端さんが、次に病院に行ったら居ないと思うと淋しいです。メガネ曇って入ってきて道端さんに笑ってもらえないなんて。ほんとにお世話になりありがとうございました。体に気を付けてお元気で”。眼鏡の曇りをお祝いの気持ちに結び付けるなんて素晴らしい。次は秋田に転居した浅野さん。“★花みち(9歳)・「病気がなった時、がんばってなおしてねと優しく応援してくれてありがとうございました。結婚しても病院にいたときのように優しくしてください」★花怜(4歳)・「(結婚式)何色のドレス着るんですか。着たら色教えてください(^_^)。字がかけるようになりました！」★母(?歳)・「一度、受付で帰る際、海外旅行の話をしてあげたことがありました。旅行好きなのかなあ、と病院にきたのになんぞか楽しくなって帰宅しました。そんな幸せをきつとクリニックにきて皆さんにあげてきたのかなあ、と思っています。子供の体調が悪いとき、実は私も相当ひどい表情の時が多かったと思います。いつも優しく、冷静に対応してくれる道端さんが子供たちも私も大好きでした。本当にお世話になりました、どうぞ末永くお幸せに。またいつかお会いできることを願っています!!」親子の気持ちがしっかり伝わってきます。遠く離れた後まで気にかけてくれる気持ち、道端君だけでなくありがたい気持ちです。最後は青葉区の早坂さん。“道端さん、この度はご結婚おめでとうございます♪京都に転勤し5年経って帰って来た時も、すぐ「真奈穂ちゃんのお母さん」と名前を憶えてくれて、物凄く嬉しかったです!!いつも優しい笑顔で抱きかかってくれてありがとうございました。これからは旦那様と素敵なご家庭を築いて幸せな時間をお過ごしください♪お子さんが産まれたら...勿論、川村先生が、かかりつけの先生ですよ！また何処かでお会いする事があるかと思いますが、これからも宜しくお願い致します。そして道端さん、ありがとうございました(^_^*)”。5年間のブランクがあっても、遠くに転居しても、かわむらこどもクリニックのかけつけは、かけつけです。そのことが道端君へのあたたかいメッセージに繋がっているのです。クリニックスタッフはどこに行っても、スタッフだからね。残念で仕方ないと双方が思うことが、最高の繋がりなのでしょう。F.B.にもお祝いのメッセージを寄せてもらっています。ありがとうございます。ご覧ください！！



Mail News, Twitter, Blog, Facebook の紹介

Mail News は、500人を超えるお母さんが登録。右上のQRコードから登録できます。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。

新しい情報発信として **Twitter**、**Blog**「子どもクリニック四方山話」、**Facebook** ページ、**YouTube** にも取り組んでいます。子育て、医学、趣味、グルメ、旅行記等のおもしろい話題満載。見るだけでも楽しいかもしれません。是非ご覧ください！

Mail News かなり戻ってきます。届かない場合は kodomo-clinic.or.jp をドメイン指定して下さい。不明な点は受付まで問い合わせ下さい。



MailNews



Twitter



Facebook



Blog

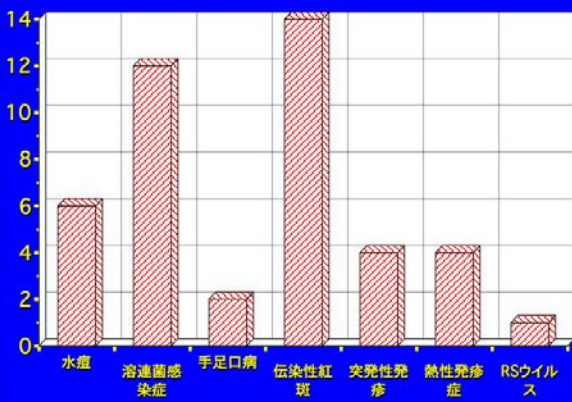
編集後記

道端君の結婚退職はうれしい反面、娘を嫁に出す父親の気分です。10年間もしっかりクリニックの理念を理解して、患者さんたちの「不安・心配の解消」に力を注いでくれました。10年間クリニックと一緒に育ってきたと思います。クリニックで学んだことの多くは患者さんを通して得たものです。これから奥さんとして、そして母としての人生に大いに役立つはずですよ。いつまでも今の気持ちを忘れずに大きな幸せを掴んでください。



K's clinic

1月の感染症の集計



先月のインフルエンザは112人でした。インフルエンザの流行に関してはMailNewsやF.B.で仙台市と全国の流行状況を提供しています。最新のデータでは減少傾向を示しています。その他溶連菌感染症も多く、相変わらず季節外れの伝染性紅斑(りんご病)が大流行中です。感染胃腸炎も多くみられますが、ワクチンの影響なのかロタウイルスは少なく、ノロウイルスが優位です。

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』『お母さんクラブ』現在会員を募集中です。参加希望は受付まで。！！